

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： 寿生の丘

施設種類： グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設(該当に○)

日時： R7年 6月 20日 14時 ～ 15時

会場： ケアハウス寿生の郷 会議室

出席者：

(人数)

利用者代表	1人	駅前交番職員	1人
利用者家族	1人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他(GH管理者・GH係長・総務部長)			3人

(議題)

1：事業（活動）報告

2：意見交換

1. グループホーム管理者より事業（活動）報告

(1) R7年度第1回開催以降の活動報告等

- ・月行事（食事会、花の郷ドライブ遠足、誕生会）日課、日々の活動、ドライブ（勝定寺つつじ、斐川公園、立久恵方面）など。

- ・入退所状況：1名入所

- ・87歳男性 要介護1の方：在宅より入所（4/30）。

- ・内部研修：接遇、リスクマネジメントについて（4月）
認知症ケアについて（5月）

- ・感染症について：ノロウイルス感染症1名発症、1名疑いあり（5/12～）。
現在対応、面会等通常通り。

- ・ヒヤリハット・事故報告について（2月～6月）

- ・ヒヤリハット：押し車の方が途中から手すりを使って歩いていた、小さな丸椅子を部屋に持ち帰り台にしてエアコンの風を確認されていたなどご利用者の行動面が多かった。独歩やシルバーカー忘れも変わらずある。薬の吐き出し、石鹸やアルコール消毒を口に運ぼうとする、センサーの付け忘れなどあり。時間帯は17時～19時が多い。

- ・事故報告：11件あり。転倒、転落が一番多かった。しりもちやベッドから転落など。他には歯磨き粉を口に含んだ、薬を吐き出され服薬できなかったなどあり。時間帯はばらつきあり、転倒は5時～6時が多かった。

- ・その他：
 - ・介護相談員来所（6/23 予定）
 - ・地域ボランティア（個人）：4月から再開し、お話やゲームなど関わりを持っていただいている。職員が手薄な中とても助かっている。

(2) 入所者状況報告（5月31日現在）

[入所者 18名（男性 1名）（女性 17名）][年齢 85～101歳]

2. 意見交換

（駅前交番所長）

- ・車での外出があるようなので必ず全席シートベルトをしてもらいたい。高齢の方は骨が弱くなりちょっとした衝撃で骨折をしてしまうということを念頭に。急ブレーキ、急ハンドルで前の座席にぶつかり骨折をする恐れがあるということを忘れずに安全、慎重な運転をしてほしい。暑くなってきたので熱中症に注意を。高齢の方は自分で体の渇きに気づきにくい特徴があるので、空調や水分補給の管理をお願いしたい。県内で交通事故の死亡事故が連続して発生している。現在9件、去年1年間の数字になっている。暑くなると若い人を含めて運転の注意が散漫になる。長距離運転は避けてこまめに休憩を取ってほしい。島根安全ドライブコンテストというものがある。3人1組でチームを組み7/11から12/31までの期間中の事故なし、違反なしを目標にする。1人670円。抽選で豪華景品がある。ぜひ応募して安全運転に取り組んでもらえればと思う。

（市役所）

- ・暑くなってきたので熱中症や食中毒に注意してほしい。外出した時何か飲食するのか？
 - A.管理者：食事はしていない。出先でジュースやお茶を飲んで帰る程度。楽しそうに外出されているのでこれからも続けてほしい。

(利用者)

- ・(広報を見ながら) 知った顔が一杯見えていい。話しかけると喜んで返してこられる。片便じゃないから同じ話でも気持ちがいい。

(あんしん支援センター)

- ・水分を用意してもなかなか飲まれない利用者は何人くらいいるか？
A.管理者：その場で飲まれなくても場面や場所が変わると飲まれたりするの
で最低限は飲まれていると思う。家で飲む習慣がなくコップ1杯の水分も
難しい方もいると思うが、いろいろな場面で少しずつでも飲んでいただく
工夫をしている。熱中症の危険、頻尿やお通じの原因にもなりうるので出
来るだけ摂っていただきたいと思っている。今現在飲まれなくていけない
という方はいない。
- ・職員も水分が不足しないように気を付けているか？
A.管理者：声をかけながら。ゆっくりと飲むことはできないが、入浴介助後
など少しでも口に含むよう声がけしている。

(地域ボランティア)

- ・(ご利用者の話を聞き) しっかり話をされて感心する。

(家 族)

- ・母が3月終わりから5月初めまでコロナ感染から肺炎になり寿生病院で入院
していた。復活して元気になりとても安心している。大変お世話になりました。
行事など家では出来ないことをしてもらい有難く思っている。これから
もよろしく。

(法人総務部長)

- ・今年も熱中症は注意が必要。法人内の保育園でも若い保育士が熱中症になっ
た。入居者はもちろんだが職員も注意しなければいけない。国も熱中症対策
を取るよう言っている。法人内共通の対策を取りながら各施設個別でも対策
している。ノロウイルス感染は他の2つの施設でも発生した。時期でいろい
ろ感染症があるが、考えながらやっていきたい。

(GH 管理者)

次回8月からは外部評価も進めていきたい。取り組みを細かく説明するので
たくさん意見を頂けたら思う。

以上